令和７年度　志教育全体計画

様式1

宮城県松山高等学校

校　訓

意欲，創造，規律，連帯

本校の教育目標

1.「学」「創」「共」
2.地域に貢献できる生徒の育成と学校づくり
3.家政科・家庭科の充実づくり。

生徒の実態，教師の願い

生徒は素直で明朗。基礎的な学力を身に付ける必要を感じている。規律ある学校生活を通じて，先を見通して自分の生き方を発見しできるような指導をしていきたい。

保護者や地域の願い

挨拶などの基本的習慣をしっかりと身に付け，また基礎的な学力を定着させてほしい。しっかりとした進路目標を持ち，自律的な生活を送ってほしい。

「志教育」の目標

1 何事にも誠実（**至誠**）で感謝（**感恩**）する気持ちを大切にする生徒を育成する。
2 **規律**を理解し，進んで貢献する生徒を育成する。
3 自ら動き将来の生き方を発見する生徒を育成する。
4 素晴らしい「偶然」に出会える場を設定する。

重点指導事項

人と「かかわる」（**連携**）	よりよい生き方を「もとめる」（**意欲**）	社会での役割を「はたす」（**創造**）
①学校行事やＨＲ活動を通して他の生徒と交流する中で，コミュニケーション能力の醸成を図り，よりよい人間関係を築く力を育てる。 ②地域や上級学校の協力を受けて，社会人と積極的に関わる機会を設け，社会性，協調性を養う。	教科教育，特別活動，進路学習，部活動などを通して，達成感，自己肯定感を涵養し，自己の目標の実現に向けて意欲的に努力を重ねる姿勢を育てる。	①学校行事を通じて，全体の中での自己の役割を理解し，責任を持って行動する姿勢を育てる。 ②地域での福祉体験実習や職場見学，救急救命講習，インターンシップ等の実施を通して，自己理解を深め，社会に貢献する姿勢を育てる。

各教育活動における取組の観点

各教科	①基礎的・基本的事項の理解の定着を図る。 ②「考える力」を育成する。 ③「聞く」「書く」「話す」能力を伸長する。
道徳	「人間としての在り方・生き方」に関する教育を教育活動全体を通して行うことによって，豊かな人間性を醸成し，自己実現，社会に貢献する姿勢を育てる。
総合的な探究の時間	①体験活動，ワークショップを積極的に活用し，生徒の自己発見を援助するとともに，将来の目標を主体的に考える姿勢を育成する。 ②地域企業の見学，講話やインターンシップを通して，社会に貢献し，積極的に人と関わる姿勢を育成する。
特別活動	生徒会の一員として，委員会活動や各種行事に積極的に参加し，自己の役割を果たす経験を通して協調性や自己を生かす能力を養う。
その他	①家庭科教育を通して，専門的技能の確立，問題解決能力の向上，社会活動を通した人間性の涵養と職業人としての意識の向上を図る。 ②朝の読書活動を定着させ，集中力，読解力と判断力の身についた生徒を育成する。

各学年の取組内容

1年	①新入生オリエンテーション 校歌・校則・学校行事・学習内容紹介 ②福祉体験学習，救急救命講習 社会に貢献する姿勢を学ぶ ③校外学習 ④進路ガイダンスの開催 ⑤人間関係構築のためのソーシャルスキル実習 ⑥ビブリオバトル・NIEの実施
2年	①進路オリエンテーション ②インターンシップの実施 ③進路希望の明確化 ④進路関係の保護者ガイダンス ⑤修学旅行の実施 ⑥平和教育の実施 ⑦適切な人間関係構築のためのソーシャルスキル実習 ⑧探究・研究活動の深化 ⑨ビブリオバトル・NIEの実施
3年	①進路オリエンテーションの実施（生徒および保護者向け） ②面接指導及び模擬面接の実施 ③キャリアカウンセリングの実施（進学・就職） ④地元企業見学会の実施 ⑤進路希望先の応募前見学の実施（進学・就職） ⑥進路決定後及び卒業後の生活や心得、ルールやマナーの指導 ⑦適切な人間関係構築のためのソーシャルスキル実習の実施 ⑧探究・研究活動の深化（探究サイクルの定着、図書の活用） ⑨ビブリオバトル・NIEの実施

家庭との連携

家庭への情報発信や学校公開週間，学校評価アンケート等を通じて家庭との連携を図る。PTA役員会・学年懇談・PTA総会・三者面談を通して各学年での進路情報を共有し，保護者の進路意識の啓発を図る。

地域･企業との協働

①地域で活躍する社会人を，講師として積極的に招聘し，生徒の社会人基礎力の育成につとめる。
②2年インターンシップでは生徒全員を広く社会に出し，健全な社会体験を推進する。